平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境情報学特別演習Ⅰ（Environmental InformationEngineering Seminar Ⅰ）			授業コード	M001108
担当教員名	廣田　篤彦			科目ナンバリングコード	R30401
配当学年	1	開講期	通年		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	特別研究を遂行するための基礎知識の習得、研究手法の学習を目的とする科目であり、修士論文の指導と関連して実施します。				
受講心得	授業時間に限らず、日常的な取り組みが重要です。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	既往研究、学会資料ほか				
関連科目	環境情報学特別演習Ⅱ（Environmental InformationEngineering Seminar Ⅱ）				

授業の目的	特別研究を遂行するための基礎知識の習得、研究手法の学習を目的とする
授業の概要	都市・建築空間の環境や計画に関わる近年の既往研究を一読し、当該分野における近年の研究動向を探るとともに、論文の体裁、記述法など、論文作成のプロセスについて学習する。また、既往研究をテーマ別に分類した上で、特に興味深いテーマ、あるいは兼ねてから問題意識や疑問を抱いていたテーマを抽出し、同領域における研究の流れ、傾向、内容などについて整理・分析する

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 課題の説明とスケジュール	
第 2 週 ： 文献調査(1)	
第 3 週 ： 文献調査(2)	
第 4 週 ： 既往研究のレビュー(1)	
第 5 週 ： 既往研究のレビュー(2)	
第 6 週 ： 課題設定	
第 7 週 ： 調査項目、調査スケジュールの検討(1)	
第 8 週 ： 調査項目、調査スケジュールの検討(2)	
第 9 週 ： 調査項目、調査スケジュールの検討(3)	

第10週： 予備調査（1）	
第11週： 予備調査（2）	
第12週： 予備調査（3）	
第13週： データ整理（1）	
第14週： データ整理（2）	
第15週： 中間報告	
第16週：	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	都市・建築や社会・環境に関心を持ち、それに関わる問題意識を有する
【知識・理解】	既往研究をしっかりレビューする
【技能・表現・コミュニケーション】	都市・建築や社会・環境に関わる問題意識を有し、それを解決するための方策を検討する
【思考・判断・創造】	既往研究を踏まえ、有用性と独創性に富んだ自身の研究テーマを設定する。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	20点	
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点	

【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	10点

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	
発表・その他 （無形成果）	